



給付項目に追加された視覚障がい者用具
(地上デジタル放送対応ラジオ)



増富 理津子 議員
(共産党)

障がい者給付見直しを 生活用具

○ 手話を言語として認め、聴覚障がい者が暮らしやすい社会づくりのためにも、本市で手話言語条例の制定を。
 (健康福祉部長) 障がい者施策の充実を図っていく中で、検討課題と考えている。

○ 障がい者が安心して生活が送れるよう、日常生活用具の給付項目の見直しを行い、給付条件を緩和すべき。
 (健康福祉部長) 平成28年度予算に、新規給付項目の追加や10項目の条件緩和など、拡充も含めて計上した。

○ 27年「さんさん山城」にあった地域活動支援センターが市外に移転し、利用を控える方もいる。市内にも設置するべきと考えるが。
 (健康福祉部長) 市内での設置は、考えていない。

○ アルプラザ内に開設して10年を迎える女性交流支援ルームのスペースと設置環境では、機能に限界がある。現状に対する市の考えと、今後の取り組みについて問う。
 (市民部長) 公共施設の整備計画の中で検討していきたい。

○ 地域活性化にも大きく影響してくる課題である、近鉄新田辺駅東側の駅前整備に向けて、市の考えと取り組みを問う。また地権者、商店主はもちろん、利用者の声を反映できる取り組みを。
 (建設部長) 地元関係者への意向調査を進めている。商店街のにぎわいづくりを推進、支援できるような基盤整備のあり方について、地元のみならず市の意見を伺いながら検討を進めている。



水はけが悪い松井ヶ丘中央公園



鈴木 康夫 議員
(一新会)

松井ヶ丘中央公園 水はけ対策は

○ 松井ヶ丘中央公園の水はけが悪く、子どもの遊び場が失われていると、市民から指摘を受けた。子どもたちの運動能力の維持向上のために、身近な場所での運動スペースの確保は必須である。その対策を求め。
 (建設部長) 地元自治会と協議を重ね、公園内のでこぼこの修正や、新たに土を入れての整地など、敷地内の排水性を向上させる整備工事を3月に実施する。

○ ごみ置き場のごみ無断持ち去り対策を問う。市の財産が喪失すること、持ち去り業者の荒い運転等による危険性の観点から、取り締まりの強化を求める。隣接する枚方市では、罰則付きの条例を制定し、厳しく取り締まってい

ことによる、学力低下やネット依存、SNSによる誹謗中傷などの悪影響が指摘されているが、本市の小・中学生の現状、悪影響に対する認識と対応は。
 (教育部長) 本市でも携帯電話などの所持率は高く、使用時間は高学年ほど高くなっており、使用のあり方は課題となっている。家庭での管理やルール作りを啓発しているほか、培良中学校で生徒会を中心とした「スマホ・ネット宣言」を行うなど、情報社会の特性を理解し安全に利用するための取り組みや、情報教育を進めている。SNSでの誹謗中傷などの問題は学校でも把握し、道徳教育や人権教育を通じて未然防止に努めている。

○ 小・中学生がスマートフォンや携帯電話を使用する

(経済環境部長) これらの行為は市条例で禁止しており、職員巡回パトロールや、警告看板の設置・持ち去りステッカーの配布などの対策を講じている。花住坂地区では顕著な抑止効果をあげることができ、危険運転の防止は、田辺警察署と連携していきたい。

○ ゾーン30に対する本市のスタンス、計画を問う。
 (建設部長) 設置基準は、二車線以上の幹線道路や河川などの、物理的な境界で区画された市街地で、生活道路が集積しており、地域住民の要望が高い地域である。地域の交通安全を確保する有効な手段と考え、地元からの要望や実情を聞いて、交通管理者との協議を進めたい。



近くにバス停もあるため渋滞が発生する交差点



南部 登志子 議員
(無党派)

田辺中央 交差点 渋滞解消対策を

○ 市民力を生かしたまちづくりについて。○職員出前講座で学ぶことは、市民力の向上につながる。内容のさらなる充実と市民利用促進の工夫を。○認知症カフェを出前講座形式で。○災害ボランティア制度をさらに発展させ、ボランティアの中からファッションリーダーの養成を行ない、防災減災についての認識を市民に広めていくことが必要。

○ 普賢寺ふれあいの駅の出張販売を、買い物難地域へ拡大できるよう市サポートを。
 (企画政策部長) ○内容を工夫し、広報等で周知を図る。

(健康福祉部長) ○身近な地域で利用できるよう、検討や協議を始めようとする。

(危機管理監) ○社会福祉協議会と連携して、防災リーダー

○ 養成を働きかけていく。
 (経済環境部長) ○どのような支援が必要か研究を進める。

○ 消費拡大に向けて、小学校ごとに地元産米の使用を。また、ふるさと納税の特産品お礼には、山城産ではなく京田辺産米の使用を求める。
 (教育部長) 今後の研究課題であるが、普賢寺小学校については地元と話を進めている。

(総務部長) 京田辺産を含む山城産米を提供している。

○ 田辺中央交差点の渋滞解消に向けて、歩車分離信号を設置するか、あるいは交差点近くにあるバス停の移動を行なうなどの対策を求め。
 (建設部長) 右折信号を追加したり歩車分離の交差点にするなど、さっさと渋滞を招く恐れが高いため、変更は難しい。



出動に備える救急車



喜多 和彦 議員
(自民・新風会)

救急出動増加対策は

○ 平成27年火災・救急・救助統計によると、救急出動が4000件に達している。救急要請の増加に伴い、救急車の現場到着遅延が予想される。救急需要増加に対する応需体制と、第二岡本総合病院移転の影響は。
 (消防長) 高齢者・一人暮らし世帯の増加などにより、救急要請が増えている。市民に適正な救急車の利用を呼びかけることも、救急車の現場到着遅延が予想される場合は、救急資機材を積載した消防車を出動させて対応している。第二岡本総合病院の移転に伴い、北部地域の救急搬送距離が短縮され、利便性が向上すると考えている。

ことによる、学力低下やネット依存、SNSによる誹謗中傷などの悪影響が指摘されているが、本市の小・中学生の現状、悪影響に対する認識と対応は。
 (教育部長) 本市でも携帯電話などの所持率は高く、使用時間は高学年ほど高くなっており、使用のあり方は課題となっている。家庭での管理やルール作りを啓発しているほか、培良中学校で生徒会を中心とした「スマホ・ネット宣言」を行うなど、情報社会の特性を理解し安全に利用するための取り組みや、情報教育を進めている。SNSでの誹謗中傷などの問題は学校でも把握し、道徳教育や人権教育を通じて未然防止に努めている。